

～公共施設附帯駐車場の有料化に向けて～

- 市では、将来的な人口減少や少子高齢化を見据え、負担の公平性の確保や財源の確保などを目的に、公共施設に附帯する駐車場の有料化に向けて取り組みを進めています。
- 本年4月に策定した基本方針*に基づき、6月にパブリックコメントを実施し、様々なご意見・ご提案をいただきました。
- こうしたご意見などを基本方針*へ反映し、料金などの見直しを行ったことから、広く市民の皆さまにお知らせします。
- この基本方針*を基に関係する条例案や補正予算案などを12月の第4回市議会定例会に上程します。



*公共施設附帯駐車場の有料化実施に向けた基本方針

基本方針改定のポイント

●パブリック
コメントなどの
意見を受けて
**10月に基本方針を
改定しました。**

- 主な変更点は、次の4点です。
- ・無料時間の延長
 - ・時間単価の引き下げ
 - ・1日最大料金の廃止
 - ・市内在住者料金の設定

※詳細は、市ホームページでご覧いただけます。



有料化の目的

- ① 受益者負担の適正化
- ② 負担の公平性の確保
- ③ 財源の確保

有料化対象施設

- ① えびな市民活動センター (ピナレッジ・ピナスポ)
- ② 海老名運動公園
- ③ 北部公園
- ④ 中野公園
- ⑤ 文化会館 [中央図書館・総合福祉会館]

駐車料金

- 最初の **1時間無料**
- 以降1時間あたり
通常 : 200円
市内在住者 : **100円**

背景 ～なぜ今、有料化なのか～

暮らしを支える公共施設を維持するために

- ・公共施設を安心して利用できる環境とサービスの提供を維持していくためには、今後、施設の大規模な改修や建て替えなどが必要です。



将来へ向けた転換期を迎えています

- ・公共施設には、行政運営や市民生活に不可欠な施設から選択的に利用される施設まで様々あり、全てを一律に取り扱うことは、適切ではありません。
- ・将来的な人口減少や少子高齢化を見据えて、今から財源の確保などの対策をしていくことが必要です。

税金で賄う維持費の一部を利用者の負担へ

- ・公共施設の維持管理費は、大部分が公費(税金)で賄われています。
- ・駐車場は選択的に利用されることから、利用に応じて料金をいただくことを提案します。

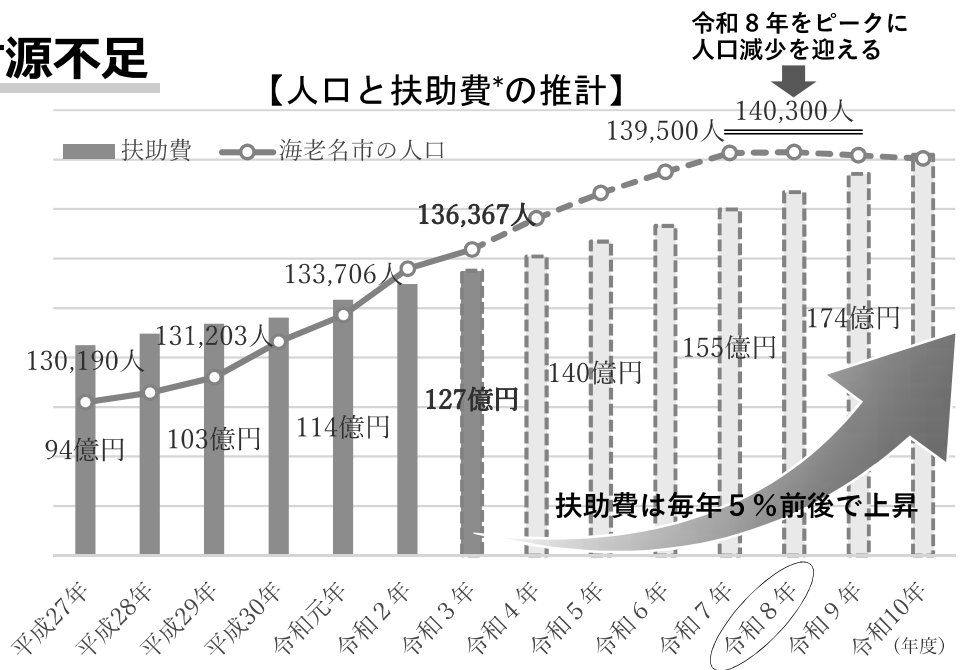


懸念される今後の財源不足

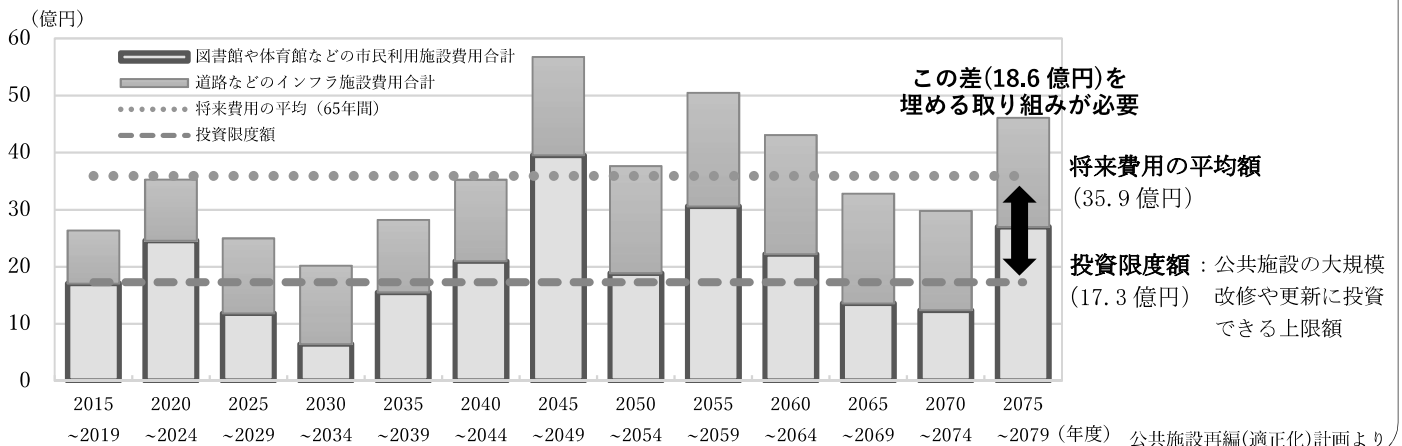
- ◎人口減少などに伴う税収減や少子高齢化に伴う扶助費*の増加により、財源不足が見込まれます。
- ◎施設の大規模な改修や更新などが必要となる一方で維持管理費の増加が予測されます。
- ◎将来費用に対して、1年あたり18.6億円の不足が予測されます。

扶助費*：生活に困っている人や子育てをしている世帯、障がい者などの生活を社会全体で支える経費

【人口と扶助費*の推計】



<参考：将来費用の試算結果と投資限度額の比較>



この差(18.6億円)を埋める取り組みが必要

将来費用の平均額 (35.9億円)

投資限度額：公共施設の大規模改修や更新に投資できる上限額 (17.3億円)

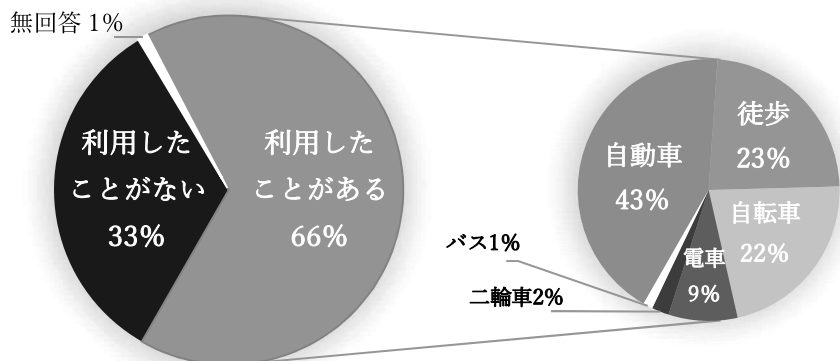
駐車場有料化の 3 つの目的

① 受益者負担*の適正化

- ◎有料化対象施設を1施設でも利用したことがある方は **66%** です。
- ◎このうち、公共施設への移動手段が自動車の方は **43%** です。

受益者負担*：サービスにより利益を受ける特定の方に、受益の範囲内で、使用料や手数料などを負担していただくこと

【施設利用の有無と交通手段】



令和3年度市政アンケートより

各施設利用者アンケートより

ポイント

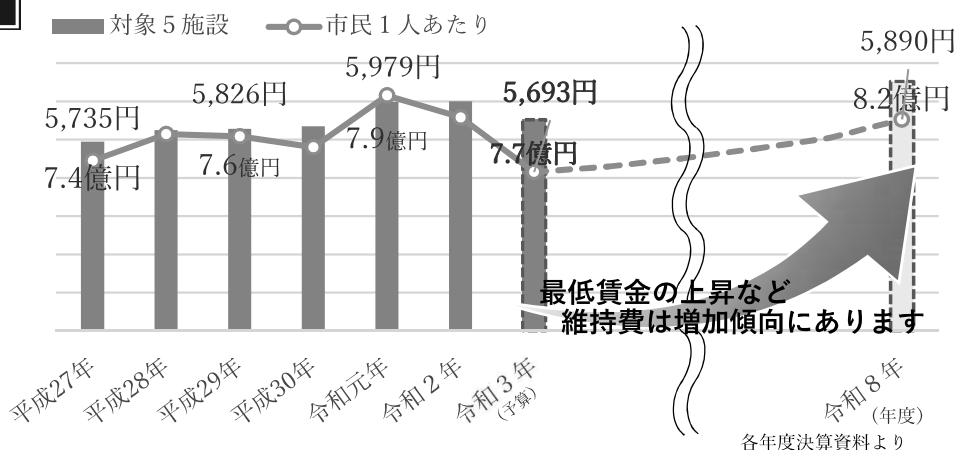
駐車場を利用したことがある方は、**10人中、3人**と試算されます

→ 選択的に利用される施設は「**受益者負担の原則**」の考え方から負担をお願いする方針です

② 負担の公平性の確保

- ◎対象5施設の維持管理には、**年間約8億円**の公費（税金）を投入しています。
- ◎施設を使わない方も等しく**年間約5,700円**を負担することになります。
- ◎維持管理費のほかに、平成27年度以降で**8億円以上**の修繕費などがかかっています。

【維持管理費（指定管理料）の推計】



最低賃金の上昇など
維持費は増加傾向にあります

各年度決算資料より

ポイント

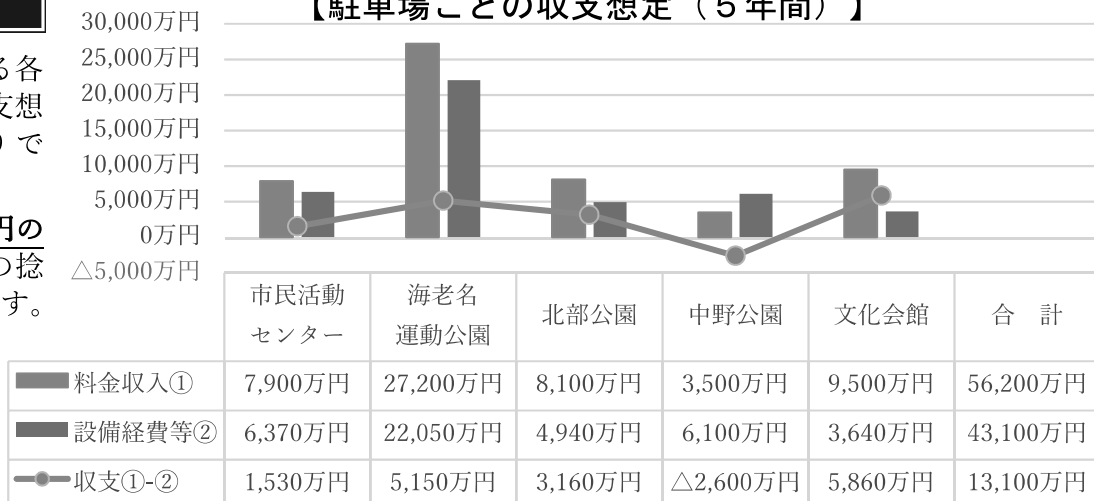
施設を使わない方も **年間約5,700円** を負担しています

→ 駐車場利用者が利用料を負担することで「**負担の公平性**」の確保を進めます

③ 財源の確保

- ◎駐車場有料化による各施設の5年間の収支想定は右図のとおりです。
- ◎合計で**最大約1億円の収益**（維持管理費の捻出）を見込んでいます。

【駐車場ごとの収支想定（5年間）】



ポイント

駐車場利用者が利用料を負担することで、**「財源の確保」** を行い維持管理費を削減します

他市の状況

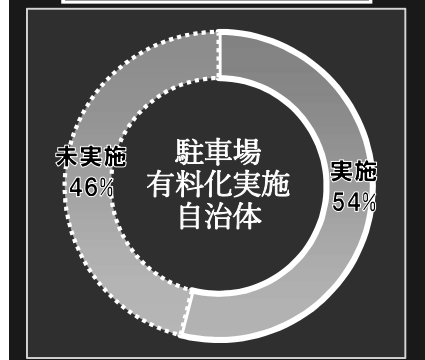
【隣接市の駐車場有料化施設の事例】

令和3年11月現在

施設名称	料金体系
大和市文化創造拠点シリウス	無料時間なし 30分 200円
大和ゆとりの森（都市公園）	30分無料 1時間 100円
綾瀬スポーツ公園（都市公園）	30分無料 1時間 100円

多くの市がすでに
取り組んでいます

県内他市の実施状況



減免制度等

- ◎ 障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方、その付き添いの方が駐車場を利用する場合は免除します。
- ◎ その他、行政目的のために主催する行事など、利用団体の活動についても一定の範囲で減免を行います。

今後の予定

- ◎ 12月の第4回市議会定例会に、条例案や補正予算案などを上程します。
- ◎ 条例が可決された場合、有料化に向けた駐車場整備に順次着手し、令和4年4月から5月を目途に駐車場を有料化します。

Q&A

Q：パブリックコメントではどのような意見があったの？

A：600人から計2,136件の意見がありました。

「無料を継続すべきだ」（363件）、「施設利用者は無料・割引すべきだ」（152件）、「料金が低い」（147件）が上位の意見でした。

この結果は、市ホームページでご覧いただけます。

Q：有料化はいつから検討しているの？

A：平成26年に公共施設使用料等に関する基本方針と公共施設白書、平成29年に公共施設再編（適正化）計画を策定しています。施設更新などを見据え、市民サービスの維持・向上に向けた検討を重ね、将来を見据えた有料化を提案しています。

Q：財源は不足していないのでは？

A：現在の市の財政状況は健全ですが、財源が不足してからは対応できなくなる恐れがあります。健全な財政状況である今から将来を見据えた取り組みを進める必要があると判断しています。

Q：駐車場利用料は指定管理者の収入になる？

A：その予定です。施設の維持管理費は、利用者が支払う利用料と市が支払う指定管理料で構成されています。駐車料金収入が加わることで指定管理料が削減されます。施設（会議室など）の利用料と同じ仕組みです。

Q：市内在住者割引の適用方法は？

A：市内在住の方は、利用施設の受付に駐車券と免許証を提示すれば、割引が適用されます。登録制の割引カードの発行などを予定しています。

Q：駐車場利用料の使い道は？

A：施設の維持管理費の一部を賄います。捻出した財源を市民サービスの維持・向上や今後の施設更新などに活用することを予定しています。